

# 令和4年度（2022年度） くまもと「親の学び」プログラム 次世代編実践事例集



（宇城市立不知火中学校における次世代編講座の様子）

熊本県教育委員会



## 【 目 次 】

はじめに . . . . .	1
くまもと「親の学び」次世代編実践協力校実施一覧 . . . . .	2
<b>各校の実践</b>	
宇城市立不知火中学校 . . . . .	3
玉名市立玉南中学校 . . . . .	4
合志市立合志楓の森中学校 . . . . .	5
高森町立高森東学園義務教育学校 . . . . .	6
高森町立高森中学校 . . . . .	7
嘉島町立嘉島中学校 . . . . .	8
八代市立東陽中学校 . . . . .	9
芦北町立佐敷中学校 . . . . .	10
水上村立水上中学校 . . . . .	11
天草市立有明中学校 . . . . .	12
山鹿市立鹿本中学校 . . . . .	13

## **紹介**

「親の学び」オンデマンド講座～「考えよう！スマホとの距離」～ . . .	14
--------------------------------------	----

## はじめに

熊本県教育委員会では、「くまもと家庭教育支援条例第13条」に基づき、中学生、高校生の「じりつ」（自律・自立）を促し、将来大人になることについて学ぶ「くまもと『親の学び』次世代編プログラム」(以下、次世代編プログラムという。)の推進に取り組んでいます。

令和4年度（2022年度）は、県内の中学校11校を実践協力校に指定させていただき、次世代編プログラムの効果的な活用について、実践を重ねてきました。

この11校の実践を取りまとめましたので、各学校におかれましては、次世代編プログラムの今後の積極的な活用にご役立ていただきますよう、お願いします。

### ★くまもと「親の学び」プログラムについて★

くまもと「親の学び」プログラムとは、保護者や生徒を対象にした参加体験型コミュニケーション講座を進行するためのプログラムです。

生徒向け「親の学び」プログラム（次世代編）は、まもなく大人になる高校生や中学生が、「大人になったとき」「親になったとき」に必要な『自立』と『コミュニケーション』をメインテーマにしたプログラムになっています。

また、保護者向け「親の学び」プログラムは、子供の発達段階に応じた「乳幼児期編」「小学生期編」「中高生期編」があり、テーマをもとに考えを出し合うことを通して、保護者が子育てについて前向きな気持ちを持ち、子育てのヒントを得ることができるプログラムになっています。

令和4年度（2022年度）

くまもと「親の学び」次世代編実践協力校 実施一覧

宇城	宇城市立不知火中学校	7月1日(金)	14:10~15:00	①教室前 多目的スペース ②図書室前 多目的スペース	原田トレーナー 宇城教育事務所 藤本社会教育主事
玉名	玉名市立玉南中学校	7月14日(木)	9:45~10:35 10:45~11:35	1年1組教室 1年2組教室	玉名教育事務所 岩田社会教育主事
菊池	合志市立合志楓の森中学校	12月22日(木)	13:40~15:00	体育館	菊池教育事務所 水上社会教育主事
阿蘇	高森町立高森中学校	11月17日(木)	10:30~12:20	1年1組教室 1年2組教室	阿蘇教育事務所 田木社会教育主事
	高森町立高森東学園義務教育学校	11月10日(木)	14:20~15:10	1棟ホール 7~9年生16人	阿蘇教育事務所 田木社会教育主事 後期課程担当職員
上益城	嘉島町立嘉島中学校	11月8日(火)	13:55~14:45	1年生教室	上益城教育事務所 金子社会教育主事
八代	八代市立東陽中学校	7月8日(金)	14:20~15:10	音楽室	木本トレーナー
芦北	芦北町立佐敷中学校	8月31日(水)	9:45~10:35 11:45~12:35	2年1組教室 2年2組教室	芦北教育事務所 坂口社会教育主事
球磨	水上村立水上中学校	9月22日(木)	10:20~11:10	3年1組教室	高橋 雄大教諭
天草	天草市立有明中学校	7月19日(火)	14:55~15:45	ランチルーム	天草教育事務所 愛甲社会教育主事
山鹿	山鹿市立鹿本中学校	11月7日(月)	15:00~15:50	体育館	県庁社会教育課 工木社会教育主事

# 「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～宇城市立不知火中学校での実践～



【宇城教育事務所】

## 【講座のテーマ】

### 社会で求められる人になるために（ダイヤモンドランキング）

メイン活動1  
「アドジャントークをしよう」  
で楽しく会話を  
する生徒たち。  
「夢中になって  
いることは…」



原田トレーナー  
の説明を聞きな  
がら、ランキン  
グを考える生徒  
たち。「1番は  
責任感、2番は  
信頼性かな？」

「私は、コミュ  
ニケーション能  
力が大切だと思  
います。訳は…  
だからです。」  
「なるほど。僕  
とは違うな～」



「新卒採用に関  
するアンケート  
結果によると、  
多様な人々と仕  
事をしていく中  
で、重要視した  
い力は…」

自分の将来設計  
（自立）に向け  
て実行してい  
きたいことは？  
「薬剤師になる  
ために…を頑張  
っていきたい」



## 【講座の日程等】

実施日：令和4年7月1日（金）

時 間：5校時（14：10～15：00）

場 所：宇城市立不知火中学校

対 象：3年1組（31名）、3年2組（32名）、保護者

進行役：原田 祐作トレーナー

宇城教育事務所 社会教育主事 藤本 三郎

## 【本講座の説明】

まもなく大人になる中学生や高校生が、「大人になったとき」「親になったとき」に必要な『自立』と『コミュニケーション』をメインテーマにしたプログラムである。

生徒に「じりつ」（自立・自律）を促し、将来、大人になることについて学ぶ機会を提供するものである。

## 【プログラムの実際】

- ① アイスブレイク（頭の体操）
- ② 本日のプログラムの確認
  - ・キーワード～社会で求められる人になるために～
- ③ メイン活動1「アドジャントークをしよう」
- ④ メイン活動2「ダイヤモンドランキングを作成しよう」
  - ・個人でトップ3を作成して、グループで紹介し合う。
  - ・全体でトップ3を紹介する。
- ⑤ メイン活動3「自分の生活を見つめよう」
  - ・これからの未来について見つめ、『求められる力』について知る。
  - ・将来設計（自立）に向けて実行していくことを書く。
  - ・実行することを発表し、友達からサインをもらう。
  - ・全体で紹介する。
- ⑥ まとめをする。

## 【「親の学び」プログラム次世代編アンケート（生徒）から】

- ほとんどの生徒が「楽しかった」「今後の生活に役立つ内容であった」と回答していた。
- <本講座を受講した生徒の感想>
- あまり人には言わない自分のことを話せ、友達のことでも聞けたのでよかった。
  - これからの自分に何が必要か、どうしていくべきかを考えることができてよかった。
  - 今後の自分のことについて、計画が立てられていないことに気づくことができた。
  - 自分の将来に向けて、今日の学びを有言実行できるように意識していきたい。

## 【参加された保護者の感想から】

- 説明が分かりやすく、他の保護者の方とも話し合えたので、とても楽しかった。
- 参加体験型の学習で退屈することなく参加できた。それぞれの価値観や考え方が違うことを知れてよかった。

# 「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～玉名市立玉南中学校での実践～



【玉名教育事務所】

## 【講座のテーマ】

親の立場になって考えよう！～携帯・スマホ等の安全利用～



アドジャントークでアイスブレイク



ある親子の会話を聞いて考えよう



互いに納得できる方法はないかな？



話したことをみんなで交流しよう

### 【講座の日程等】

日にち：令和4年7月14日（木）

場 所：玉名市立玉南中学校

日 程：2校時・3校時（9：45～11：35）

対 象：玉南中学校 第1学年1組・2組（2学級）48名

進行役：玉名教育事務所 社会教育主事 岩田 博史

### 【講座の説明】

生徒たちにとって身近なツールとなった携帯・スマホ等の利用について、親の立場になって考えることを通して、現状を見つめ直したり、親子が納得するための方法を考えたりして、安全で正しい利用につなげることをねらいとした。

### 【プログラムの実際】

- 1 「親の学び」プログラム講座次世代編について（ねらい）
- 2 アイスブレイク
  - ①頭の体操（広い視野で柔軟な考え方）
  - ②アドジャントーク（3～4人のグループトーク）
- 3 メインプログラム
  - ①YES or NOクイズ（親の立場で考える）  
※説明（インターネットの利用率、スマホ所持率等）
  - ②ある親子の会話から・・・（親だったら何と言う？）  
※説明（インターネットの特性、利便性と危険性等）
  - ③親子が納得できる方法を考えよう（グループトーク）
- 4 まとめ  
・保護者とのコミュニケーション、家庭でのルールづくり

### 【生徒の感想】

- 親の立場になって考えてみると、お母さん、お父さんがSNSの危険性を心配して言ってくれているのだなと思った。家族で決めた条件（ルール）をしっかり守って使うことが大切だと思った。
- 親子両方の立場になって考えることで、自分の考えが変わったり、新しい考えが出てきたりした。
- 今後のインターネットの使い方を少し見直す機会になったのかなと思った。
- 親の目線に立ってみて、自分がしている今の生活を見直し、少しでも家族の役に立つことをしたいと思った。

### 【参観者（学校職員）の感想】

- 教え込むだけでなく、じっくり考えさせて納得させた上で行動を期待しないと、本当の自主性につながらないと思う。とても効果的な展開だった。
- 親の立場として考えを深めていく活動があり、広い視野から自分を見つめることができていた。
- 身近な親の立場で判断するというのは、子供たちにとって興味深いことだったと思う。SNS以外でもこのような視点で考えていく活動を取り入れていければと思う。

# 「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～合志市立合志楓の森中学校での実践～



【菊池教育事務所】

## 【講座のテーマ】 将来の夢に向けて、今の自分に必要なこと



### 【講座の日程等】

日にち：令和4年（2022年）12月22日（木）  
場 所：合志市立合志楓の森中学校  
日 程：5・6校時 13：40～15：00（80分）  
対 象：合志楓の森中学校 第2学年（120人）  
進行役：菊池教育事務所 社会教育主事 水上 堅悟

### 【講座の説明】

将来、夢を実現するためにはどのような力が必要か、互いの考えを伝えあいながら、今後の自分にとって必要な力を考えることができる講座です。講座の最後には、その力を付けるために、今後どのような行動をするか自分の行動目標を立て、班員に宣言をすることで日常生活につながる流れとなっています。

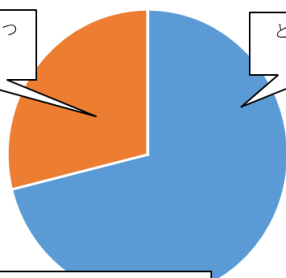
### プログラムの実際

- 1 講座について
  - ・なぜ、親の学び講座を中学生が受けるのか？
  - ・今日の講座のめあての確認  
『自分の夢を実現するために、将来必要となる力について考え、自分の行動目標を立てよう！』
- 2 アイスブレイク
  - ・大人になるための訓練！  
視野を広くし、多様な考え方を柔軟に受け入れることが必要となる活動
- 3 さいころトーク
  - ・自分の将来のことを想起するお題を班でトーク
- 4 ダイヤモンドランキング
  - ・将来仕事をしていくために必要だと言われている16の力を各自でランキング！
  - ・班で意見交換をして、班の1位を決定後に全体共有
  - ・経団連のアンケート結果や社会人基礎力について聞き、自分が大切だと思う力を思考
  - ・将来に向けてやっていくべき行動目標を決定！
- 5 まとめ
  - ・今日の学びについて感想交流

Q. 講座の内容は今後の生活に役に立つ内容でしたか？

まあまあ役に立つ  
29%

とても役に立つ  
71%



役に立たない・あまり役に立たない 0%

### 【生徒の感想】

- ・私は、将来の夢どころか、行きたい高校すら決まっていなかったけれど、今回の講座を通して「未来」が少しだけ見えた気がしました。
- ・班のメンバーの将来の夢など、初めて知ったことがたくさんあって楽しかったです。学年の雰囲気良かった気がしました。
- ・広い視野で柔軟性を持つことが、新しい考えにつながるということが分かりました。いろいろな人と考えを共有することで、自分の中の新たな発見がありました。

# 「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～高森町立高森東学園義務教育学校での実践～



【阿蘇教育事務所】

## 【講座のテーマ】 夢に向かって考えよう

### 【講座の日程等】

期 日：令和4年11月10日（木）  
場 所：高森町立高森東学園義務教育学校  
時 間：5校時（14：20～15：10）  
対 象：第7～9学年（3学級分）16名  
進行役：阿蘇教育事務所 社会教育主事 田木 祐一郎

### 【講座の説明】

これから大人になる中学生が、「自律・自立」「コミュニケーション」をテーマに、社会から求められる力について考えることをとおして、進路や自立に向けて考えるきっかけとする。また、自分自身やお互いのことを知り、豊かな人間関係を築こうとする心情を高める。

### 【プログラムの実際】

- 1 アイスブレイク
- 2 さいころトーク
  - ・中学生になった自分について、話してみよう、聞いてみよう。
- 3 メイン活動  
～夢に向かって考えよう～
  - ・職場や地域社会で、多様な人々と仕事をしていくために必要な力は何だと思いますか？
  - ① まずは、自分で書いてみよう。
  - ② グループトークで話し合おう。
  - ③ クラスみんなで共有しよう。
- 4 まとめ
  - 互いの思いや願いを知り、それぞれの違いを認め合いながら、学び合い、高め合っていくことが、よりよい未来につながっていく。

### 【生徒の感想（抜粋）】

- 自分の考えをグループのみんなに伝えたり、自分と違う意見をたくさん聞いたりして、大切だと感じるが増えた。
- 生きるためには、どんな力も必要になると思う。その中でも自分が身につけていきたい力を見つけることができた。目標に向かって頑張れる人になっていきたい。
- みんなも同じように悩みがあることを知って少し安心した。これから広い視野でたくさんの人とつながりを深めていきたい。
- 今日はとても楽しかった。改めて自分の考えを振り返ってみて、トップ3の力だけでなく、全ての力を身につけた大人になりたい。



# 「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～高森町立高森中学校での実践～



【阿蘇教育事務所】

## 【講座のテーマ】 夢に向かって考えよう

### 【講座の日程等】

期 日：令和4年11月17日（木）  
場 所：高森町立高森中学校  
時 間：3・4校時（10：30～12：20）  
対 象：第1学年（2学級）41名  
進行役：阿蘇教育事務所 社会教育主事 田木 祐一郎

### 【講座の説明】

これから大人になる中学生が、「自律・自立」「コミュニケーション」をテーマに、社会から求められる力について考えることをとおして、進路や自立に向けて考えるきっかけとする。また、自分自身やお互いのことを知り、豊かな人間関係を築こうとする心情を高める。

### 【プログラムの実際】

- 1 アイスブレイク
- 2 アドジャントーク
  - ・中学生になった自分について、話してみよう、聞いてみよう。
- 3 メイン活動  
～夢に向かって考えよう～
  - ・職場や地域社会で、多様な人々と仕事をしていくために必要な力は何だと思いますか？
    - ① まずは、自分で書いてみよう。
    - ② グループトークで話し合おう。
    - ③ クラスみんなで共有しよう。
- 4 まとめ
  - 互いの思いや願いを知り、それぞれの違いを認め合いながら、学び合い、高め合っていくことが、よりよい未来につながっていく。

### 【生徒の感想（抜粋）】

- とても楽しく学ぶことができた。大人になることが楽しみになった。未来と夢につなげていきたい。
- 仕事のことをしっかりと考えたことがなかったけど、しっかりと考えることができて、大切なことは一つではなく、いくつもあることを知った。
- 人と話すことがあまり得意ではないので、たくさん話をして、人見知りを克服したい。
- 未来に向かって考えることで、大切な力にどんなものがあるのかを知ることができた。友達や班の人の意見も聞いて自分の考えがもっと深まった。
- これから必要な力についていろいろなヒントをもらうことができた。



# 「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～嘉島町立嘉島中学校での実践～



【上益城教育事務所】

## 【講座のテーマ】

親（保護者・大人）としてモラルやマナーについて考えてみよう



活動② アイスブレイク



活動④ メイン活動2



活動⑤ グループ協議



活動⑥ まとめ

### 【講座の日程等】

日にち：令和4年11月8日（火）

場 所：嘉島町立嘉島中学校

日 程：5校時（13:55～14:45）

対 象：嘉島中学校 第1学年2組（1学級）31名

進行役：上益城教育事務所 社会教育主事 金子 正誓

### 【講座の説明】

これから大人になる中学生が、自転車の安全な乗り方などの道路交通法について考えることを通して、モラルやマナーについて考えるきっかけとし、社会の一員として行動しようとする心情を高めるねらいをもってプログラムを実施した。

### 【プログラムの実際】

- ① 「親の学び」次世代編の説明
  - ・「くまもと家庭教育支援条例」の説明を含む。
- ② アイスブレイク  
(交通マナーを意識するためのサイコロトーク)
  - ・進行を円滑にするため、トーク内容にプログラムに係る参加者の実態や考えを含める。
- ③ メイン活動1  
(自転車の乗り方について考える Yes・No クイズ)
  - ・事前にモラルやマナーの意味を確認する。
  - ・今まで曖昧であった道路交通法について知る。
- ④ メイン活動2  
(親の立場で自他のモラル意識を見つめるワーク)
  - ・具体的な状況を例示して、自分自身を振り返る。
- ⑤ グループ協議  
(大事にしているモラルやマナーについての話し合い)
  - ・自転車運転の取り締まり強化に関する報道記事を紹介し、自分事として考える機会とする。
- ⑥ まとめ  
(ワークシートに振り返りを記入する。)
  - ・命を大切にすること、自分だけは大丈夫と考えないことを伝えたいと、将来どんな大人になっていたいかと問いかける。

### 【実践校の感想】

(生徒) モラルやマナーについて自分を見つめ直すことができた。大人になったとき子供のお手本になるようにしたい。

(生徒) 取り締まりがあるということは、社会でマナーが守られていないことが分かった。自分から守りたい。

(教師) 生徒と一緒に日頃を振り返るよい機会となった。この後、各学級担任により第1学年全学級でこのプログラムを実施したい。

# 「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～八代市立東陽中学校での実践～



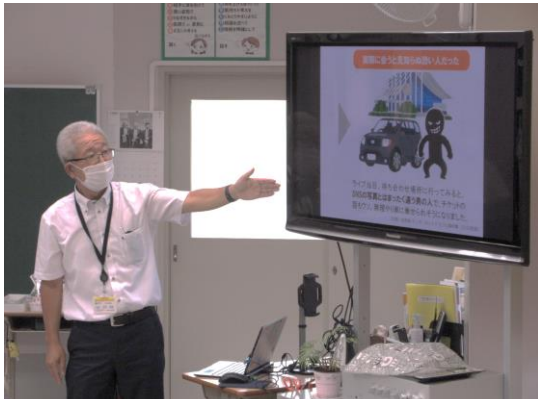
【八代教育事務所】

## ～学級活動での「親の学び」次世代編の活用～

### 【講座の説明】

各学年の生徒の実態に合わせ、次のプログラムを参考にして講座を行いました。

- ・「次世代編Ⅱ プログラム5：私の主張と親の主張、どちらも納得するには？～SNSの利用を通して～」



【SNSの危険性について説明している様子】



【私の意見、親の意見についてロールプレイしている様子】



【オンラインで授業に参加している生徒と一緒にアイスブレイクしている様子】

### 【講座の日程等】

実施日：令和4年7月8日（金）

時間：5校時（14：20～15：10）

場所：八代市立東陽中学校（音楽室）

対象：第1学年、第2学年、第3学年の全生徒

進行役：木本 芳照トレーナー

### 【プログラムの実際】

- ① 講座の「目的」「学び方」について確認する。
- ② アイスブレイク
- ③ メインプログラム（アレンジ）
  - ・私の意見と親の意見～スマホの利用を通して～
- ④ 振り返り
- ⑤ まとめ

### 【生徒の感想】《1年生①、2年生②、3年生③》

- ① 正しく使わないと事件などに巻き込まれやすいということを改めて分かったので、正しい設定をしたりして、安全に使うようにしようと思った。
- ① グループで親子の立場で言い合ったら、親と子のどちらの気持ちも分かったけど、親の言うことのほうが正しく感じました。
- ② 親と子の主張をそれぞれ考えて、どちらの考え方も正しいと思いました。考えを受け入れてルールを作るといいと思った。
- ② 私はついやりすぎてしまうので、目的、時間を決めていこうと思った。家族との時間を増やしていきたい。
- ③ 親と子の立場になって考えて、どちらにも賛成できる部分があったので、使い方をしっかり考えようと思った。
- ③ 改めてスマホ・SNSの使い方を見直し、相手のことを考え、目的に合った使い方をしたい。

### 【参観者の感想】

- スマホやSNSの危険性について学び、ロールプレイを行うことで、親と子の立場になって考えることができていたと思う。
- 生徒が安心して意見交流ができる雰囲気があり、積極的に班で意見交流を行い、学びを深めていた。
- オンラインで参加している生徒も一緒に最後まで楽しく活動に参加していた。

# 「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～芦北町立佐敷中学校での実践～



【芦北教育事務所】

## 次世代編「いろいろな仕事に関心をもとう！」の活用 ～職場体験学習の事前学習として～



【本講座について説明している様子】



【アイスブレイクの様子】



【班で仕事を産業種ごとに分類している様子】



【班活動の結果を発表している様子】

### 【講座の日程等】

日にち：令和4年8月31日（水）

場 所：芦北町立佐敷中学校

日 程：2校時（9：45～10：35）

4校時（11：45～12：35）

対 象：佐敷中学校 第2学年1・2組（2学級）62名

進行役：芦北教育事務所 社会教育主事 坂口 祥一郎

### 【講座の説明】

これから職場体験学習を行う2年生を対象に本講座を実施した。本講座を通して、生徒が職場体験学習に向けて、いろいろな仕事があることや自分の住む町の仕事について関心を持ち、これからの学習へ興味や関心をもって取り組むことができるようなプログラム構成にした。

### 【プログラムの実際】

- ① くまもと「親の学び」プログラム（次世代編）の説明  
・画像（見え方の違い）を使って参加者へのお願い
- ② アイスブレイク・かさなったらパン  
・古今東西ゲーム（仕事編アレンジ）
- ③ 知っている仕事、地元にある店、会社等を書き出す
- ④ 第一次産業、第二次産業、第三次産業、その他にグループ分けする
- ⑤ 書き出された仕事について、「知っている」「知らない」で分けながら意見交換を行う
- ⑥ 「ビジネスの相手が誰であるか」で仕事を考える視点を知る
- ⑦ トレーナーのまとめ
- ⑧ 感想の記入と発表

### 【生徒の感想】

- 町内の職業や店をグループ内で出し合ってみると、知らないものがあり、新しい発見になった。また、自分が行く店や職場体験先は第何次産業なのかを考えることで仕事への興味をもつことができた。職場体験では、自分のやりたことや新たな可能性が見つけられたらよいと思う。この学習を職場体験で活かしたい。
- 今回の学習を通して、町内には意外と多くの仕事があることが分かった。また、職場体験があることの大切さを知れた。将来、どのような職業につくか、改めて、しっかりと考えていきたいと思った。自分のやりたいことが見つけられるように、もっと深く考えていきたい。
- 自分の知る仕事はごくわずかで、他にもたくさんの仕事があることを実感した。これからは、視野を広くもち、色々なことを調べ知っていくことが、とても大切なことだと思った。

# 「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～水上村立水上中学校での実践～



【球磨教育事務所】

## 【講座のテーマ】いろいろな仕事に関心をもとう！

～第3学年 職場体験学習から進路決定に向けて～

実施日・時間	1年生	2年生	3年生
1 7月19日 諸活動	1聞いて!話して!友達のこと、自分のこと コミュニケーション	4発想の転換 ～逆転の発想で考えよう～ 多様な考え方	2これいいね! My ストレス解消法 自己認知
9月22日 3時間目			10いろいろな仕事に関心をもとう! いろいろな仕事
2 10月12日 諸活動	2これいいね! My ストレス解消法 自己認知	6人との接し方について考えようII ～電話での話し方～ 電話での話し方	11夢をもとう! 夢
3 11月17日 諸活動	4発想の転換 ～逆転の発想で考えよう～ 多様な考え方	10いろいろな仕事に関心をもとう! いろいろな仕事	3人との接し方について考えようI ～乳幼児との接し方～ 相手に応じた接し方
4 1月13日 諸活動	9これどう思う? あなたのモラルは? モラル	8モラルやマナーについて考えよう! ～自転車の乗り方を通して～ 交通ルール	12未来予想トーク ～想像しよう自分の未来～ 将来のこと
5 1月18日 諸活動	8モラルやマナーについて考えよう! ～自転車の乗り方を通して～ 交通ルール	9これどう思う? あなたのモラルは? モラル	7上手なお金の使い方 ～どうする?あなたの意思決定～ お金の使い方
6 2月13日 諸活動	5私の主張と親の主張、どちらも納得するには? ～SNSの利用を通して～ 私の主張と親の主張	5私の主張と親の主張、どちらも納得するには? ～SNSの利用を通して～ 私の主張と親の主張	13今考える将来設計は? 自分の将来
7 3月7日 諸活動	11夢をもとう! 夢	11夢をもとう! 夢	

### 【講座の日程等】

日にち: 令和4年9月22日(木)

場 所: 水上村立水上中学校

日 程: 3校時(10:20～11:10)

(総合的な学習の時間)

対 象: 水上中学校 第3学年1組(21名)

進行役: 高橋 雄大 教諭(第3学年担任)

### 【講座の説明】

水上中学校では、年間を通して生徒の「自律・自立」「コミュニケーション」の育成を図るために、全学年で「親の学び」プログラム次世代編を計画的に活用。(左図参照)

今回は、第3学年で実施する職場体験学習の事前学習(導入)として、次世代編プログラム「No.10いろいろな仕事に関心をもとう!」を実施。

### 全学年における実施計画(水上中学校作成)

### 【プログラムの実際】



書き出した付箋を分類

- ねらいの確認  
「いろいろな仕事に関心をもとう」
- アイスブレイク  
「さいころトーク」 日常的な話題と職業関係の話題を中心として
- 多様な仕事について関心をもつ  
(1) 知っている仕事の名前や地元にある会社を付箋に書き出す。  
(2) 書き出した付箋を、第一次・第二次・第三次産業に分類し、共有する。  
(3) グループシートや黒板に出された仕事のうち、どれくらいの仕事を知っているか確認する。
- 「ビジネスの相手が誰であるか」で仕事を考える視点を知る。  
(1) 「B to B」、「B to C」という仕事の分け方を知る。  
・ビジネス相手が企業、会社等 → B to B(自動車部品メーカー等)  
・ビジネス相手が消費者(Consumer) → B to C(販売系等)  
(2) 「B to B」、「B to C」の2つのグループに分ける。
- 感想をタブレット端末内のワークシートにまとめ、紹介する。
- 教師の話を聞き、今後の職場体験学習につなげる。

### 【生徒の感想】

- 仕事は人前でするもの以外にそれを支える仕事もあることを知った。そういう仕事も楽しそうだった。また、人前に入る仕事の方が一般的に知られていることが多いことが分かった。
- いろいろな職業を分類してみて、第一次・第二次産業はあまり思いつかなかった。これからは第三次産業だけでなく、他の生産・加工の職業も調べてみたい。たくさんの職業を知ることによって、自分の将来の幅が広がると思った。



ICTを活用しての感想発表

# 「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～天草市立有明中学校での実践～



【天草教育事務所】

## 【講座のテーマ】

未来に向かって～中学3年生の今、何ができる?!～



【すごろくトーク（次世代編 ver）】



【中学生の今、何ができる?】

### 【生徒の感想から】

- 自分の考えを深めることができました。
- 「自立」「自律」していきたいです。
- まだ、具体的なことは決まっていないので、少しずつ進めていきたいです。
- 自分が日頃できていないことが何か分かったので、それを直せるようにがんばりたいです。
- すぐ行動に移せる気がしてきました。毎日の自主トレをやりたいです。
- いよいよ受験生だから、今までの夏休みみたいに過ごしてはいけないなと思いました。

### 【講座の日程等】

日にち：令和4年7月19日（火）  
場 所：天草市立有明中学校 ランチルーム  
日 程：6校時（14：55～15：45）  
対 象：有明中学校 第3学年 38名  
進行役：天草教育事務所 社会教育主事 愛甲 崇

### 【講座の説明】

今の自分について、すごろくトークで語り合った後、生徒自身の身近自立、社会的自立についてセルフチェックをした。「20年予想」で、自分の将来について想像した上で、中学3年の今、自分が何をすべきか、何をがんばりたいのかを考え、友だちに宣言した。

### 【プログラムの実際】（・生徒の反応）

#### ●プログラム1 アイスブレイク

#### ●プログラム2 すごろくトーク（次世代編 ver）

Q. だれかにしてもらってうれしかったことは？

- ～さんに、「ありがとう」と言われたこと。

Q. ズバリ！将来の夢は？

- まだ、はっきりとは決まっていないなあ。
- 自動車関係の仕事につきたいと思っている。
- 芸術系の学校に行きたいな。

#### ●プログラム3 有明中生のハローワーク

「自立度チェック」～身近自立、社会的自立～

- 決まった時間に自分で起きるのが苦手です。
- 家庭学習の時間が、あまり集中できていない。
- 家族や地域の人に、朝からあいさつできているよ。

「あなたがこれから成長したいのはどれか選ぼう」

- できていることもあるけど、この3つはこれからだな。
- 自立に向けて、これをがんばらないと。

#### ●プログラム4 みんなの20年予想

「自分の将来設計をしてみよう！」

- 高校でも野球をがんばりたい。
- 兄がやっている仕事に興味がある。
- 進学や就職はちょっと心配だな。

「その夢に向かって、中学生の今、何ができる？」

- まずは、計画的に勉強することをがんばりたい。
- 他の人の今後の目標を聞いたので、自分のルートについても、もう一度考えてみたくなった。

#### ●プログラム5 まとめ

さあ、夏休み、2学期。いよいよ、受験や将来のことを考える時期です。これからのあなた自身の行動が、「光り輝く未来」を作ります。

家族、先生、友達。応援してくれる人のことを思いながら、あなたが「今」できることをしてみましょう！

# 「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～山鹿市立鹿本中学校での実践～



【山鹿市教育委員会】

## 【講座のテーマ】

子どもの立場、親・保護者の立場（次世代編）



アイスブレイク「一筆書き」

## 【講座の日程等】

日にち：令和4年11月7日（月）  
場 所：山鹿市立鹿本中学校体育館  
日 程：6校時（15：00～15：50）  
対 象：鹿本中学校 第3学年1・2組 71名  
進行役：県社会教育課 社会教育主事 工木 圭吾郎

## 【講座の説明】

将来、親・保護者になったとき、様々な場面でどのような声かけをするのか。また、自分はどんな親・保護者でありたいかを考える活動を通して、今の自分と親・保護者との関係性を見つめ直し、より良い関係を築こうとする機会となる。

## 【プログラムの実際】

### I アイスブレイク

「なぞなぞ」「一筆書き」の問いを考える活動を通して、人には固定観念があり、「広い視野・柔軟な考えを持つ」「色々なものの見方をする」「色々な意見を受け入れる」ことの大切さを確認した。

### II 中心活動（自分の考えを持ち、皆で意見の交流）

**課題①** 友だちの家いつものメンバー5人で集まり勉強してくる。帰りがちょっと遅くなる。夕食も済ませてくる。

**課題②** 予定より帰りが遅くなった。気付けば、スマホには家からの着信・メールが・・・。

それぞれの場面ではあなたは？

#### ◎子の立場から

なんて言う？ 課題①→「しっかり勉強してくる」

課題②→「思わず時間が経ってた」

なんて言ってほしい？

課題①→「気をつけて行っておいで」

課題②→「心配したよ」

#### ◎親・保護者の立場から

なんて言う？

課題①→「なるべく早く帰ってくるのよ」

課題②→「遅れるんだったら連絡しなさい」

#### ◎将来の自分

どうなりたい？

・「お父さん、お母さんみたいな親になりたい」と、自分の子どもから言われる親になりたい。

・かっこいい親になりたい。

### III まとめ

ありの目（細部を見る）

とりの目（広い視野で見ると）

さかなの目（流れを見る）



意見の交流

## 【生徒の感想】

○自分の将来の姿を考えることができるいい機会になりました。

○だめなことはちゃんと伝えられる、そして子どもの気持ちに寄り添える親になりたいと思いました。

○親は、自分のために言ってくれているのだから、これからは真剣に聞こうと思いました。

○親とけんかしたときは、親の立場になって考えるようにしようと思いました。

○仕事が忙しくても、手伝ってくれるので親はすごいと思いました。感謝の気持ちを伝えていかないといけないと思いました。

## 【教師の感想】

○多感な中学生にとって、とても興味深い講座だった。このようなプログラムを授業でやってみたい。

○親・保護者がどんな思いで、自分を育てているかしっかりと考える機会になると思う。



〈中高生向け〉〈保護者向け〉

## オンデマンド講座コンテンツ

# 「考えよう！スマホとの距離」

### ★ 動画の内容は…

#### 1 スマホあるあるチェック

- ・日常生活でのスマホの使い方をセルフチェック！

- |                            |                             |
|----------------------------|-----------------------------|
| 1 起きてまずすることはスマホチェック        | 5 お風呂に入る時もスマホを持っていく         |
| 2 出かけるときはモバイルバッテリーを必ず持っていく | 6 スマホを見ながら眠ってしまうことがある       |
| 3 好きなものより映えるものを買いがち        | 7 実際は何も起こっていないのにスマホが光った気がする |
| 4 外で落としたりしたくないのは財布よりもスマホ   | 8 スマホが身近に無いととても不安になる        |

#### 2 使い過ぎによる影響

- ・長時間の使用が及ぼす影響を、科学的知見から学ぼう！



#### 3 使い過ぎを防ぐために

- ・ペアレンタルコントロールや家庭でのルールづくり！



### ★ 動画の活用場面(例)…

- 1 生徒の皆さんに ※学級活動やホームルームで、日頃の使い方を見直す。
- 2 保と子、一緒に ※授業参観等で、家庭でのルールについて話し合う。
- 3 保護者の皆さんに ※学級懇談会やPTA研修会でペアレンタルコントロールの活用について話し合う。



動画はQRコードから視聴できます。  
また、県教育委員会のHPからワークシートがダウンロードできます。



問い合わせ先 熊本県教育庁市町村教育局社会教育課  
Tel: 096-333-2697 Fax: 096-387-0089